

# 【上野みえこ議員の一般質問・報告】「こんな大事なことが知らされていない」

## JASM 第2工場等処理水の「放流口」が白川(吉原橋付近)に

### JASM 第1工場の処理水が流される坪井川で、 ドイツの規制値を上回るPFBS・PFBA濃度を検出

2025年1月、JASM 第1工場  
でPFBS・PFPeS・PFBAの3種  
類のPFAS使用が判明。

2024年12月の県環境モニタ  
リング委員会の調査結果では、  
JASM 第1工場の排水処理施設  
である北部浄化センター放流

口がある坪井川下流地点の  
PFAS 値が上昇、PFBS が  
87ng/L、PFBA が 38 ng/L 検  
出されました。この数値は、ド  
イツの規制値である「PFBS・  
PFBA を含む 20 種合計で  
100ng」を上回っています。

### 市独自のPFBS・PFBA検査実施と結果の公表へ

坪井川下流でのPFBS・PFBA  
濃度上昇について、県環境モニ  
タリング委員会は「工場稼働と  
の因果関係が認められる」と指  
摘しています。

上野みえこ議員は、①PFAS  
使用中止を県が JASM に求め  
る、②「熊本市地下水保全条例」

の汚染対象物質にPFASを加える、  
③市として坪井川上流から有明海ま  
でのPFBS・PFPeS・PFBA調査実施  
と定期的な結果公表求めました。

市長は、「検査機器購入も予算化  
しており、市独自のPFBS・PFBA 検  
査と情報提供は行う」と独自検査・  
公表を前向きに答弁しました。

### 有明海に至る広範囲にPFASの影響が懸念される

熊本県は、JSAM 第2工場と  
ソニー新工場の排水対応の下  
水処理場を合志市・菊陽町に整  
備、その放流口を白川の吉原橋  
付近に予定しています。

市長は「県は、熊本市に対し、  
2024年3月に計画を説明して  
いた」と答弁。しかし、市民や  
議会には、1年以上、全く知ら

せていませんでした。

放流口予定地付近住民から  
「こんな大事なことが、知らさ  
れない」と怒りの声が挙げられ  
ています。JASM 工場排水による  
PFAS 濃度上昇が問題となっ  
ており、白川への影響を考慮す  
れば、住民への説明・理解抜きに  
すすめるべきではありません。

#### 【控室から】

「赤旗」が日本外国特派員協会「報道の自由賞」

上野 みえこ

日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」が、2025年の日本外国特派員協会「報道の自由賞・日本賞」に選ばれました。2024年9月の「しんぶん赤旗日曜版」の「日本ジャーナリスト会議大賞」に続く、うれしいニュースです。

「自民党の不正な政治資金スキャンダル、特に党内派閥内でのキックバックの摘発できわめて重要な役割を果たした。彼らの報道は後に主要メディアも追従し、日本の政治体制を揺るがした。間違いないく、一人の首相が失脚し、昨年10月の衆院選挙での連立与党が過半数を失うことにながった」というのが受賞理由で、権力監視と真実の報道というジャーナリズム本来の役割を揺るがす果たしてきたことが高く評価されました。

さらに、「日本の主要メディアが、与党に積極的  
に異議を唱えることを長い間ためらってきた一  
方で、『赤旗』は権力者を追及するジャーナリスト  
としての誠実さを示してきた」と評価は本當にう  
れしい。その「しんぶん赤旗」を一人でも多くの  
人に読んでいただきたいと思います。

日本共産党  
熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1  
発行：日本共産党熊本市議

NO. 1416  
2025年 6月22日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP: 共産党 熊本市議団



検索



上野みえこ  
(中央区)



いせり栄次  
(東区)



# 「食事も 1 日 1 回に減らして…」 ひっ迫する市民生活、物価高騰対策は急務！

食料品を中心にした物価の高騰は、市民生活を直撃しています。止まらない物価高の中で、市民生活はひっ迫しています。「1 日 1 食しか食べない」という声もあり、対策は待ったなしです。上野みえこ議員は、一般質問で物価高騰対策を具体的に提案し、実施を市長に迫りました。

## 低所得世帯への「お米券」支給を

去年の 2 倍にも跳ね上がった米の価格は、国民が主食の米にも事欠く事態となっています。

政府もコメの価格高騰対策に乗り出していますが、随意契約による備蓄米の投げ売りでは、根本的な問題は解決しません。

上野議員は、緊急的な措置として、市が独自に低所得世帯へ

のコメ購入補助、例えば「お米券」などの支給を求めました。

市長は、「現在、効果的な物価高騰対策の実施に向けた検討を行っており、国の対策の動向や、他の政令市の支援状況等を踏まえ、必要に応じて検討する」と答弁しました。

## 生活保護の夏季加算、非課税世帯のエアコン購入補助を

物価高騰で迎える猛暑の夏、熱中症を予防し、いのちと健康を守るために、生活保護世帯への市独自の夏季加算や、生活保護世帯・非課税世帯等へのエアコン購入補助の実施を求めました。

市長はいずれも、「国への要望

を行っている」との答弁にとどまりました。

しかし、エアコンのない生活での救急搬送もあり、低所得世帯へのエアコン設置助成は急がれます。



## 夏場の水道料金・基本料金の減免を

東京都はこの夏、物価高騰と例年以上と予想される猛暑への対応として、一般家庭約 800 万件の水道基本料金を 4 カ月間免除する方針です。約 8 割の家庭が利用する口径 20 ミリで 1 世帯当たり 4 カ月間・約 5,000 円の負担軽減になり、必要な経費は 368 億円です。

政令市でも、大阪市（3 か月分）、札幌市（2 か月分）が、夏場の基本料金を免除します。

熊本市の水道事業は毎年 20 億円前後の黒字となっており、その一部を活用すれば、夏場 4 カ月間の水道基本料減免は可能です。上野議員は、東京都を参考に、熊本市でも夏場の水道基本料金減免を求めました。

市長は、「減免には、慎重な判断が必要」と答弁しましたが、基本料金 1 カ月免除で 3 億 3,000 万円、3～4 カ月の免除でも黒字の半分程度でできます。

## 「物価高騰対策」総合相談窓口の設置を

日本共産党の「要求対話アンケート」には、切羽詰まった声が多数寄せられています。物価高騰による困窮は今後さらに厳しくなると思われます。

上野議員は、市が市民の困難を受け止め、各種制度の活用につなげる「総合相談窓口」設置を求めました。

